

感染症情報 12月25日～1月7日

12月25日～31日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	767例(堺市	57例)
②溶連菌感染症	548例(堺市	56例)
③咽頭結膜熱	245例(堺市	33例)
④手足口病	87例(堺市	24例)
⑤水痘	31例(堺市	3例)

府下小児科306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 4,789例(堺市 600例)

1月1日～7日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	488例(堺市	25例)
②溶連菌感染症	302例(堺市	14例)
③咽頭結膜熱	129例(堺市	12例)
④手足口病	67例(堺市	9例)
⑤水痘	30例(堺市	4例)

府下小児科306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3,572例(堺市 355例)

報告数での順位であるが、年末年始の診療実日数を考慮する必要がある。前者で1,771件、後者で1,088件の報告数であった。1月1日の週のインフルエンザ報告はその前の週の25%減、1月1日の週で定点当たり大阪府は11.67、堺市は12.24であった。

12月25日～31日

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,026例(堺市 129例)
大阪府定点 3.35 堺市定点 4.45

1月1日～7日

新型コロナウイルス感染症 1,444例(堺市 141例)
大阪府定点 4.72 堺市定点 4.86

年末年始で診療実日数が少ないにもかかわらず、大阪府では12月25日の週でその前週から15%増、1月1日の週でその前週から41%増。2023年9月25日以降で、大阪府の60歳以上の累計入院が574例あり、78%を占めているとある。

麻疹や風疹の報告は2週ともなかった。